

# 令和 7 年度（公財）福井県アイバンク事業計画

（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

## （事業 1） 眼球の斡旋等に関する事業

### 1, 眼球提供者（献眼者）の募集及び登録

#### （1） 県内主要病院開発活動の強化

10 ヶ所；福大医学部附属・県立・済生会・赤十字・厚生・福井総合・公立丹南  
勝山・市立敦賀・公立小浜）

⇒献眼用リーフレットの設置とポスター掲示・募金箱の設置

#### （2） 県内市町村窓口でのポスター掲示・リーフレット設置

#### （3） 眼科病院・眼鏡販売店（県内の眼鏡技術者協会の店舗）

⇒店頭でポスター掲示

#### （4） ライオンズクラブ定例会での啓発強化・アクティビティでのリーフレット配布

#### （5） 献眼登録希望者の登録業務

##### ① 新規登録業務

##### ② 再登録希望者登録（3 年毎の献眼登録意思確認・フォローアップ）

令和 4 年度登録者の再登録+意思確認（R4.4～R5.3 登録者 88 名）

#### （6） 献眼登録者のデータベースによる情報管理とデータ更新

### 2, 眼球の斡旋に関する業務

#### （1） 眼球摘出（献眼）時のコーディネート業務

#### （2） 強角膜切片・保存強膜の作成・保存並びに斡旋作業

#### （3） ドナーファミリーへのケア対応

##### ① 献眼提供者の葬儀参列、感謝状の贈呈（厚労大臣表彰の申請）

##### ② 訪問による移植報告

#### （4） 病院開発、献眼マニュアルの作成・見直し

##### ① R R S（ルーチンリファラシステム）の運用強化に向けたフォローアップ

福大附属病院におけるアイバンクコーディネーターの登録

済生会病院・福大附属病院におけるコーディネーターフォローアップ研修

#### （5） 角膜移植希望者の募集及び登録・管理

##### ① 登録希望者の登録業務

##### ② 登録者 3 年毎のフォローアップ業務（R4.4～R5.3 登録者 88 名）

#### （6） コーディネーター教育

- ① 専任コーディネーターの力量強化を目指す。日本組織移植学会認定コーディネーター資格の維持、日本アイバンク協会での研修参加など
- ② 全国アイバンクのコーディネーターとの技術交流（Web 会議の定例会）
- ③ コーディネーター1.5 人体制を目指して研修・教育の環境保障

## （事業 2）目に関する保健衛生知識の普及啓発

- 1, 広報誌の発行
  - （1）福井県アイバンクの広報誌定期発行（ニュースレター）
  - （2）日本アイバンク協会の広報誌（アイバンクジャーナル）定期配布
- 2, ホームページの活用・充実
  - （1）ホームページの特性を活かす、タイムリーな情報掲載
  - （2）行政・眼科病院・眼鏡店・製薬会社・関係機関団体とのリンク、バナー広告依頼賛助会員の募集拡大に活かす
  - （3）X などの SNS の活用
- 3, 移植医療推進月間でのイベント企画や共催・協賛
  - （1）「グリーンリボン応援キャンペーン」に於けるイベント企画・共催
  - （2）「目の愛護デー・目の無料検診」眼科医会共催で開催→7 年度の開催は検討中
  - （3）「ドナーファミリーの集い」→隔年あるいは 3 年毎の開催とし 7 年度は見送り
  - （4）「臓器・角膜・骨髄移植について考える県民の集い」10 月 参加と協賛  
臓器移植に関する啓発普及該当キャンペーン参加、資料提供と展示
  - （5）学習会講師派遣  
高校の授業としての移植医療（献眼に関して）講師派遣  
ライオンズクラブや地域団体など学習会の要請に対し講師派遣

## （その他）公益財団法人としての基盤強化

- 1, 法令順守とガバナンスの重視
- 2, 健全財政の確保と強化
  - （1）予算統制、経費削減・合理化の促進
  - （2）賛助会・寄付の裾野拡大
- 3, 働き甲斐のある事務局職員の処遇改善
- 4, 業務の専門性強化と業務の相互理解（誰もが担える体制めざす）
- 5, 全国アイバンクとの経験交流促進し学び合う
- 6, 役員・事務局との情報共有